

## 農地集積・集約化 対策事業の内容は

**問**

(村上正勝議員)

農地集積・集約化  
対策事業費補助金131万  
円の内容は。

**産業振興  
課**

農地の集約化  
のため、農業委

員会の農地データシステム  
を改修するもの。広域的な  
農地の利用を全国農業会議  
所や農地中間管理機構の  
データと連携させ、また、  
国の人・農地プラン補助金  
制度を利用できる体制作り  
を進めていきたい。



学校支援地域ボランティアによるしめ縄づくり教室(国見小学校)

## 仮設住宅の期間 終了後の対応は

**問**

(浅野富男議員)

平成28年3月末で  
仮設住宅の入居期限が切れ  
る。入居者への町の対応は。

**建設  
課長**

公営住宅の改修な  
ど住みやすい居住環  
境を整備し、入居をあつせ  
んしたい。

## 地域コミュニティ再生 支援事業の内容は

**問**

(松浦常雄議員)

地域コミュニティ  
再生支援事業53万円の内容  
は。

**生涯学習  
課**

被災地での社  
会教育を支援す  
るもので、学校運営に地域  
の人材を積極的に活用する  
ため、学校支援地域本部が  
小中学生の下校時の見守り  
のボランティアをお願いす  
るときのジャンパー、帽子  
などの購入費。

## 条例その他

## 職員の給与・一時金を引き上げ

### 職員給与条例の 改正

(要旨) 県人事委員会勧告  
により職員給与の月額を平  
均0・18%、一時金を0・  
15カ月引き上げるもの。  
(全員賛成で可決)

### 給与引き上げ 分の総額は

**問**  
(阿部泰藏議員)  
今回の給与引き上  
げで給与や手当はいくら増  
えるのか。

**総務  
課長**  
当初予算と比較す  
ると一般会計は一時  
金が300万円ほど増える。

### 新庁舎の事務机 購入を決定

### 動産の取得

(要旨) 新庁舎の事務机な  
ど備品一式を1004万円  
で「富士ゼロックス福島株  
式会社(郡山市)」から購入  
するもの。  
(全員賛成で可決)

### 古い机などを 再利用しては

**問**  
(村上晴夫議員)  
新庁舎の事務机な  
どを購入するが、古い机は  
すべて廃棄するのか。

**総務  
課長**  
できるかぎり売却  
し、転用できるもの  
は活用方法を考えたい。

## ※ 地域包括支援 センターを民間委託

サービスが低下するのでは

### 問

(渡辺勝弘議員)

地域包括支援センターを民間委託すると説明があったが、今回の補助金の補正内容は。

### 課長

平成27年4月から業務を委託する準備として、委託候補先が採用する職員の経費を町が全額負担するもの。

### 問

(渡辺勝弘議員)

これまで町が直接実施してきた業務を民間に委託することでサービスが低下するのでは。

### 課長

業務の一部を、委託するだけで、町が責任をもって対応する。また、第三者機関である運営協議会が事業計画などを確認する。



はつらつ運動教室で介護予防  
(観月台文化センター研修室)

※地域包括支援センターとは  
介護相談をする場合の介護、福祉、医療の総合窓口。  
いきいきサロンなどの介護予防事業の実施、要介護状態になる前の介護予防計画の作成、福祉や医療などのサービスの紹介や虐待防止、財産管理の相談などをおこなう。

## 町長の行政報告 (抜粋)

### ■東日本大震災の早急な復旧・復興

- 住宅・宅地の除染は、今年度の目標1500戸のうち、1076戸が完了。 ※町全体の目標3300戸のうち、2125戸が完了。(1月21日現在)
- 道路の除染は、山崎、石母田、川内地区などで153路線、延べ42.5キロメートルを発注。森林除染は、小坂、山崎、石母田地区の住宅地に隣接する森林5.8キロメートルを発注。(1月21日現在)
- ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、1135人が受検し、健康に影響を与える数値は検出されていない。(1月21日現在)
- 平成26年産米の全量検査は、6万8424袋を実施し、国の基準を超える数値は検出されなかった。(12月11日で全部終了)
- 農作物の風評被害対策は、11月に「東北がんばっぺ大使」の秋吉久美子さんが来町し、町内産米のおいしさ、安全・安心を発信した。また、小学生対象の稲刈り体験事業やあんぼ柿加工体験事業を実施した。
- 平成26年産のあんぼ柿の加工生産は、町内全域が加工再開モデル地区に指定され、対象農家250戸のうち175戸が生産。出荷量は震災前の3割強で約110トンの見込み。

### ■思いやりのあるまちづくり

- 阿津賀志山防塁の発掘調査を森山東国見地区で実施し、遺跡や古道の痕跡が確認された。

### ■安全安心なまちづくり

- 各地区防災訓練は、自主防災組織が主体となり10月に実施。避難訓練には町民2300人と自衛隊、消防、日赤奉仕団などが参加。

### ■活力あるまちづくり

- 「道の駅機能を核とした複合交流施設(里まち文化ステーション)」は、駐車スペースを拡大するために計画を追加変更し、用地交渉を進めている。

### ■町の継続的な維持発展

- 交流人口の増加を目的に「東京くにみ会」を開催し、首都圏の町の縁者など約250人が参加。町の農産物や加工品を味わってもらい、新たな交流を作った。
- 少子化対策は、10月から「少子化を考える住民懇談会」を開催し、出された意見から提言をまとめる予定。11月に「若者交流事業」実行委員会を組織し、若者が出会い、交流できる事業を開催予定。
- 町内各分野の人と合同町政懇談会を開催し、若者を含め連携と交流をはかった。
- 幼小中一貫教育推進事業は、10月31日と11月1日に、幼稚園児から中学生までが参加したビッグアート制作やステージ発表、有名な絵本作家などの講演会を実施した。